

# 第144回(令和8年2月)情報処理技能検定試験(データベース)4級問題

## <問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。  
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB4フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は20分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

## <テーブル定義>

コースマスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	コースCO	長整数型	101
	コース名	テキスト型	サッカー初級
	月額料金	長整数型	5000

※コースマスタ.csvの1行目は項目名とする。

入校申込テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	申込番号	長整数型	26001
	申込日	日付/時刻型	2026/1/9
	コースCO	長整数型	303
	名前	テキスト型	西本 隆児

## <処理条件>

入校申込一覧表を作成する。

- それぞれのコースCOを関連付けしなさい。  
<出力例>のとおり、それぞれの項目を選択しなさい。  
コースCOが401を抽出しなさい。  
[処理結果件数：6件]
- 表を作成しなさい。  
表題は“入校申込一覧表（コースCO401）”とする。  
申込日は年月日の表示であれば形式は問わない。  
データの並び順は申込日の降順とし、月額料金は通貨表示とする。  
表の形式は<出力例>のとおりとする。

## <出力例>

入校申込一覧表（コースCO401）						
申込番号	申込日	コースCO	コース名	月額料金	名前	
26052	2026/01/30	401	サッカー選手育成	¥15,000	宮川 勇八	
			}			
26015	2026/01/14	401	サッカー選手育成	¥15,000	細谷 大央	

# 第144回(令和8年2月)情報処理技能検定試験(データベース)3級問題

## <問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。  
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB3 フォルダ内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

## <テーブル定義>

### 社員マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	社員CO	長整数型	101
	社員名	テキスト型	白川 実咲
	職位CO	長整数型	1

※社員マスタ.csvの1行目は項目名とする。

### 研修テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	社員CO	長整数型	101
○	研修日	日付/時刻型	2025/5/9
	日数	長整数型	2

### 職位マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	職位CO	長整数型	1
	職位名	テキスト型	部長
	研修手当	長整数型	4500

※職位マスタ.csvの1行目は項目名とする。

## <処理条件>

職位別の研修回数一覧表を作成する。

- それぞれの社員CO・職位COを関連付けしなさい。  
職位CO・職位名ごとに研修日を集計（カウント）しなさい。  
研修日の集計は“研修回数”とする。  
[処理結果件数：6件]
- 表を作成しなさい。  
表題は“職位別研修回数一覧表”とする。  
データの並び順は研修回数の降順とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

## <出力例>

職位別研修回数一覧表		
職位CO	職位名	研修回数
5	主任	28
	}	
1	部長	8

# 第144回(令和8年2月)情報処理技能検定試験(データベース)2級問題

## <問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。  
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB2フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

## <テーブル定義>

### 顧客マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	101
	顧客名	テキスト型	江原 正志
	地域CO	長整数型	2

※顧客マスタ.csvの1行目は項目名とする。

### 地域マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	地域CO	長整数型	1
	地域	テキスト型	北海道

※地域マスタ.csvの1行目は項目名とする。

### 売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	101
○	商品CO	長整数型	21
○	年月	長整数型	202504
	売上額	長整数型	2520

### 請求テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	101
○	年月	長整数型	202504
	請求額	長整数型	34680

## <処理条件>

- 1月の請求額を追加し、顧客ごとの最大請求額一覧表を作成する。
  - <売上テーブル>の顧客CO・年月ごとに売上額を集計（合計）しなさい。  
売上額を集計は“請求額”とする。  
[処理結果件数：792件]
  - <処理条件>1.の年月が202601のレコードを<請求テーブル>に追加しなさい。  
[追加件数：78件]
  - <請求テーブル>・<顧客マスタ>・<地域マスタ>の顧客CO・地域COを関連付けしなさい。  
顧客CO・顧客名・地域ごとに請求額を集計（最大）しなさい。  
請求額を集計は“最大請求額”とする。  
最大請求額が100,000以上を抽出しなさい。  
[処理結果件数：6件]
  - 顧客COをカウントした表を作成しなさい。  
表題は“最大請求額一覧表（10万円以上）”とする。  
データの並び順は最大請求額の昇順とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

## <出力例>

最大請求額一覧表（10万円以上）				
顧客CO	顧客名	地域	最大請求額	
168	井田 伸一	中部	100,000	
	⋮			
113	田崎 礼子	近畿	122,750	
顧客数	X名			

# 第144回(令和8年2月)情報処理技能検定試験(データベース)1級問題

## <問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理フロー>および<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。  
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB1フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

## <テーブル定義>

### 商品マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品CO	長整数型	1001
	商品名	テキスト型	角材
	単価	長整数型	480
	区分CO	長整数型	11

※商品マスタ.csvの1行目は項目名とする。

### 区分マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	区分CO	長整数型	11
	区分名	テキスト型	資材

※区分マスタ.csvの1行目は項目名とする。

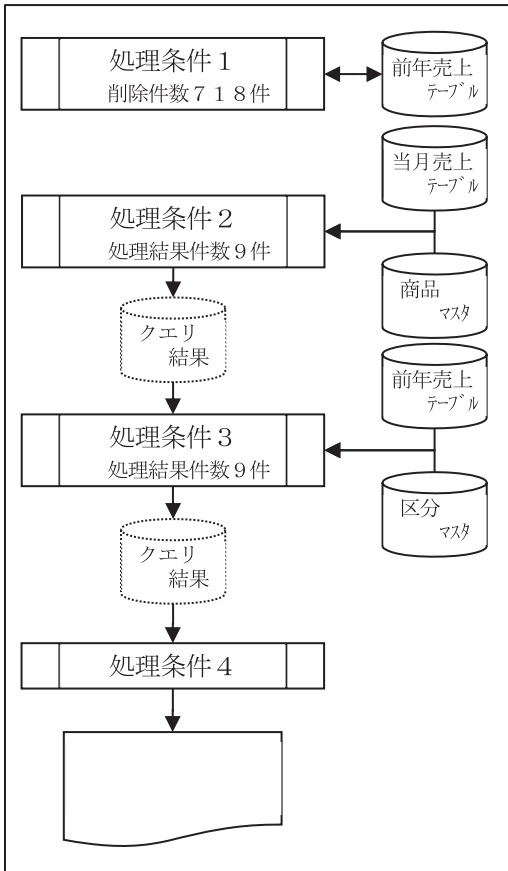
### 前年売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	101
○	売上日	日付/時刻型	2025/1/4
○	商品CO	長整数型	1020
	数量	長整数型	8

### 当月売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	101
○	売上日	日付/時刻型	2026/1/4
○	商品CO	長整数型	1039
	数量	長整数型	5

## <処理フロー>



## <処理条件>

2025年7月より前のレコードを削除し、2026年1月に売上没有商品の前年下半期における区分別売上一覧表を作成する。

- 売上日が2025/7/1より前のレコードを削除する。
- <商品マスタ>を基準に商品COを比較し、一致しないデータを抽出する。
- 区分CO・区分名・商品名ごとに商品COを集計（カウント）し、売上額を集計（合計）する。  
売上額=単価×数量  
商品COの集計は“売上回数”とし、売上額の集計は“合計売上額”とする。
- 区分CO・区分名ごとにグループ化した表を作成する。  
表題は“区分別前年下半期売上一覧表（当年1月売上ゼロ）”とする。  
データの並び順は区分COの昇順で合計売上額の降順とし、合計売上額は通貨表示とする。  
表の形式は<出力例>のとおりとする。

## <出力例>

区分別前年下半期売上一覧表（当年1月売上ゼロ）				
区分CO	区分名	商品名	売上回数	合計売上額
11	資材	集成材板	12	¥183,610
		}		
		コンクリートブロック	11	¥100,440
		}		
15	工具	電動ドリル	15	¥411,400
		}		
		ニッパー	12	¥30,600